

学校運営協議会 議事録

校名	府立だいせん聴覚高等支援学校
校長名	塩谷 謙二

開催日時	令和元年 7月 2日(火) 15:30~16:55
開催場所	大阪府立だいせん聴覚高等支援学校 校長室
出席者(委員)	村川治彦 委員、澁谷栄作 委員、余部信也 委員、野中和夫 委員 所寄令子 委員、杉本美德 委員
出席者(学校)	校長、教頭、首席2名、部主事、キャリア教育部主任、教務部主任 生活指導部主任、事務長
傍聴者	なし
協議資料	令和元年度 学校経営計画 他
備考	

議題等(次第順)	
1 開会挨拶【校長】	2 学校運営協議会委員紹介【事務局】
4 協議	5 保護者からの意見書について【事務局】
7 その他【事務局】	3 学校運営協議会の趣旨説明、会長選出【事務局】 6 閉会挨拶【校長】
協議内容・承認事項等(意見の概要)	
<p>3 学校運営協議会の趣旨説明、会長選出【事務局】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・村川委員を会長に推薦し承認、会長より所寄委員を副会長に指名し、承認 <p>4 協議</p> <p>●令和元年度 学校経営計画について【校長】</p> <p>「聴覚障がいのある生徒一人ひとりの状況に応じた教育の推進」についての主な意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育に力を入れているのは良い。仕事へのモチベーションを上げる指導を、さらに考えていってほしい。 ・社内では手話が第2言語として成り立っているが、手話はコミュニケーションツールとして、業務を正確に伝えるには限界がある。少人数会議におけるIT技術の活用方法が課題となっている。音声変換技術も向上しているが、聴覚障がいの方は発言を打ち込む必要がある。そのため、画面から読み取る読解力や短くまとめてPCに入力する筆談力があれば非常に戦力になる。 ・学生の時に資格を取っても、会社をすぐに辞める人がいる。資格があっても、職場でのコミュニケーションが上手くいかどうかは別なので、もったいない。 <p>「生徒、保護者の思いに寄り添う学校づくり」についての主な意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行事など一生懸命取り組んでいることに関しては凄いが、社会に出てからも発揮できるよう本人の持ち味を表現できればよいと思う。また、IT技術の進歩についていき、活用できれば聴覚障がいのある方ももっと前進できると思う。大学進学や教師になるなど、前向きな生徒が増えてほしい。 ・地域に向けての情報発信について、資格についてのPR以上に、障がいをカバーすることで色々な人生が開けること、だいせんに入学すれば障がいをカバーでき、それによって機会が増えるという面をもっとPRすべきだ。 ・PRは絶対にするべきだと思う。特に進路先をもっとPRすべきだと思う。 <p>学校経営計画について承認</p> <ul style="list-style-type: none"> ●キャリア教育について【キャリア教育部主任】 ●教科書、寄附による図書室の充実について【教務部主任】 ●生活指導について【生活指導部主任】 <p>以上の3件について、主な意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・薬物については、だいせん以外で、ろう者の中で暴力団が関与した事件もあったと聞いた。生徒たちが関わらないよう指導に力を入れてほしい。 	
次回の会議日程	
日時	令和元年 11月 18日(月) 10:00~
会場	大阪府立だいせん聴覚高等支援学校 校長室